

たわわ
TAWAWA

NPO 法人地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2012年11月30日

127号

NPO 法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

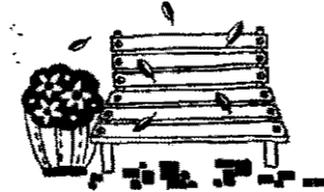
TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

地域生活支援の役割を担って...

動き出す新たな活動

—「活動ホームしもだ」障害者グループホームの運営を支援—



急に寒くなりましたが、お元気にお過ごしでしょうか？

師走の足音が聞こえ、何やら気のせく頃ですが、ここへきてようやく 長い間話し合いながら課題となってきたことが動き始めます。

地域に点在し、活動しているグループホームの“運営の大変さ”を改善するため「NPO 法人げんき・活動ホームしもだ」が、検討を始めることになりました。

当面、グループホームの運営委員会からの要望を、「しもだ」の運営委員会に出すことから始まります。すでに、“支援”については昨年、23年2月の理事会・運営委員会です承されておりますが、さらに、「しもだ」のしっかりした支援のもとに、B型（法人運営型）への移行を考えていきます。

* * *

現在の「グループホームよつばホーム」は、障害者の生活にたいし、ほとんど何も制

度がなかったところからの出発と言っても過言ではありません。

学童訓練会から、新しいタイプの作業所＝重い障害があっても、その人らしく生き生きとすごせるところ＝をめざして 学習会、資金作り、ボランティア活動をし、活動ホーム「しもだ」を設立。

その後も、理想の姿に向けて、当事者家族や職員が一体となって活動をする中で、暮らしの場・グループホームを生み出してきました。



↑「しもだ」のデイサービスで折り染めを楽しむ



↑ グループホーム・よつばホーム

同時に多くの方々の励ましが、当会「地域で生きる障害者を支える会」をつくったのです。

また、重度の障害者が地域で生き生きと暮らしていくということは、それ自体が社会に対する運動でもあり、彼らの当事者としての立派な仕事でもあります。そして、それを支えていくことが、私たちの使命だと思ってきました。

このよつばホーム10年の実践は、ほんとにさまざまな立場の人たちの協力と連携の上に、築かれてきたものです。

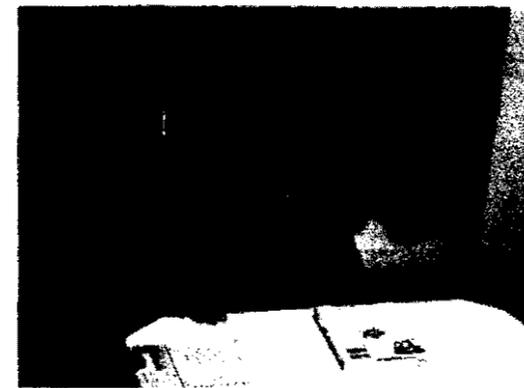
しかし、制度の変化、横浜市の法人型へ移行推進の動きもある中で、運営委員会による運営（A型）も、ここ数年のうちに法人型（B型）へ移る道を選ぶことが必要になってきます。

グループホームは、小さな単位で、普通に暮すよさはあるのですが、一方で運営費の問題、人材の確保と育成のむずかしさなど運営基盤の弱さもあります。また、活動を中心的に担ってきた人たちも、やがて高齢化していくことは否めません。

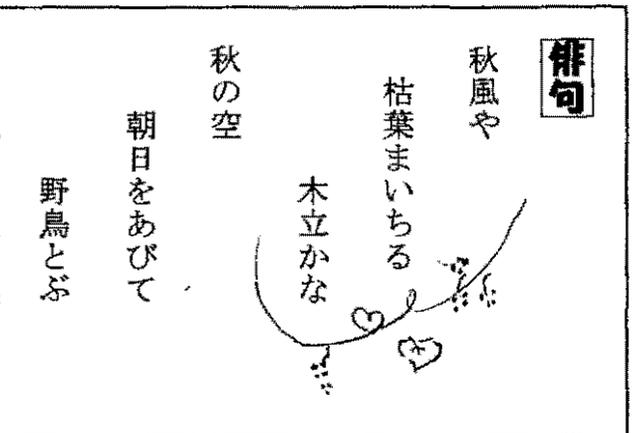
障害者たちも、高齢化し新たなケアが必要となります。メンバーの生活の充実のためには、スタッフたちもより安心した体制で取り組んでゆきたいところです。

* * *

NPO 法人「げんき」は、3館の活動ホームが連結連合してきたものです。まだ歩み始めて1年ですが、その構成員である「地域活動ホームしもだ」は、なんといっても私たちの築いてきたところでもあります。連携を深め、自立の精神は大切に、B型移行への準備をやっていってはどうかと、一つの提案をしたいと思います。皆さんはどう思われますか....。



作者・よつばホーム・高島勢津子さん





めがねの声

◇OKだけでオッケーなの...?

この前、実家に近い妙蓮寺の中型のスーパーが閉店しました。もとは、同じ屋根の下で、家族でやっているような小さなお店が何軒か集まっていたところでしたが、「地域密着型」といってスーパー型に変わったところです。

私は、小さいときには学校の帰りに、歩く訓練を兼ねて買い物に行ったりしました。そこでは、お酒や、魚や、お肉や、八百屋さん、お菓子やパン屋さんがはいていました。行くと皆私に声をかけてくれて、『がんばってね！これは、おいしいよ』と言ったり『明日は寒くなるよ、元気でね！』とあいさつをしたりしてくれました。

個人でやっていくのは、だんだん大変になったのか、同じ人でスーパーにするといったとき、私は、少しいやだな～と思いましたが、それもまた大変になって閉めるようになったのです。少しさみしいです。

近所の大型スーパーマーケットOKは、後からできたのですが、とても混雑しています。車いすでは、とても入りにくいほどです。車も駐車を並んでまっています。

* * *

この頃街のお店が少なくなりました。私は、街を歩くのが好きで、今もときどき白楽や妙蓮寺にでかけます。でも、実家に帰る土、日は、休みになっているところが増えました。商店街には、よいお肉屋さんや魚屋さんがあって、私の知っている人が遠くから買いに来ていてびっくりしたこともあります。でも、魚屋さんは、飲み屋さんにかわりました。

この前までは、母だけが行くと「車に乗っているの？」と私のことを気にかけてくれたり、会えば「元気そうね」と喜んでくれた人たちも、お店をやめました。

そんなお店は少なくなってしまうけれど、私は、街のにおいや、にこにこした顔が好きです。乾物屋さんの前を通ると鰹節やおだしのにおい、コーヒーのにおい、焼き芋の焼けるにおい、果物屋さん、花屋さん。なんとなく暖かい。

いまは、皆大きなスーパーで、だまって、買い物かごに品物を入れて買って、車で家までこぶだけです。



ちょっとこれでいいのかな...寂しいナと思います。

買い物はとても楽しいのですが、大型のスーパーに変わっていくのが残念です。

といっても、私も、連れて行ってくれる母もだんだん忙しくなって、気が付いたら夕暮れになってしまっていて、出られなくなったりするのですが...

大原友子

今月のよつばホーム&第2よつばホーム

日増しに寒さが身にしみるようになり、朝晩は吐く息も白くなってきました。

スポーツの秋、芸術の秋、実りの秋、食欲の秋、何をするにでもちょうど良い季節ももう終わり...。みなさんにとってはどんな秋でしたでしょうか。

よつばホームの入居者のみんなも各々秋を感じ、満喫した様です。

高村さんは帰宅してのティータイム後、ソフトなトレーニングなどして過ごします。運動の秋でしたね。

スタッフなどが持ちよった健康器具など使って日々体力面の強化です♪

腹筋、なわとび、キャッチボールなど、何をやってもそつ無くこなしています。

徐々に効果が表れてくることでしょうか！

勢津子さんは趣味のビーズ、読書など。花岡さんは編み物、ビーズ。女性2人は芸術の秋を過ごした様です。花岡さんが長期間頑張った編み物は、ヘルパーさんに仕上げてもらって見事ニット帽子になりました！

そしてもうすでに新しい作品を手がけ始めた様です。

花岡さんのビーズ作品♪

次郎さんはいつも、近所の施設や横療の秋まつり情報をチェックしています。チラシやポスターなどから情報を得て、出店情報など細かくチェックしています。場所によっては屋台の焼きそばが食べられるかも♪

病院...

ここ最近、入居者が病院へいく日が何度かありました。ケガにより整形外科、風邪で内科受診、皮膚科など...

グループホームに関わるスタッフは、常に入居者の体調面などに気を配る必要があります。特によつばホームの入居者は言葉でのコミュニケーションが難しいこともあり、熱だけではなく、表情やしぐさからも判断しなくてははいけません。

そのためには日頃から入居者のみんなとのコミュニケーションを密にとり、普段との違いから体調不良など早期に見つけることが大事です。初期段階で発見することで、早期回復にもつながっていきます。

よつばホームでは病院に行った際に『通院記録』を作成しています。

これは症状、診断、処置などを記録するものですが、記録を残すことで周知や今後の参考などに役立ちます。

将来的に『あんしんノート』の作成にも役立っていくと考えます。

誕生日♪

11月は章子さん、友子さんの誕生日です。グループホームに入居して9回目の誕生日を迎えました。

いつもの様にケーキでお祝いし、素敵な笑顔を見せてくれました♪

そんな誕生月の章子さん友子さんは個別外出や青年クラブの旅行など、多忙な11月でした。若干体調したり疲れがみられたりしましたが、何とか乗り切れた様です。

